

【介護人材実態調査票 職員票(訪問介護職員向け)】

本調査票を受け取った事業所名をご記入ください。

※ この調査票は、訪問サービス・訪問介護を行う介護職員の方(非正規含む。ボランティア除く)が対象です。

※ 令和 8 年 1 月 1 日現在の状況について、ご回答ください。

問1 あなたが、本調査票を受け取った事業所で提供するサービス種別(介護予防を含む)について、ご回答ください。(1つに○)

1. 訪問系サービス(訪問介護、訪問入浴、夜間対応型訪問介護、訪問型サービス(総合事業))
2. 小規模多機能型居宅介護
3. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

問2 あなたの資格の取得、研修の修了の状況について、ご回答ください。(1つに○)

1. 介護福祉士(認定介護福祉士含む)
2. 介護職員実務者研修修了、または(旧)介護職員基礎研修修了、または(旧)ヘルパー1級
3. 介護職員初任者研修修了、または(旧)ヘルパー2級
4. 「1.」～「3.」のいずれにも該当しない

問3 あなたの雇用形態、性別、年齢、過去1週間の勤務時間等について、ご回答ください。

1) 雇用形態 (1つに○)	1. 正規職員 (※ 期限の定めのない契約) 2. 非正規職員(※ 期限の定めのある契約)
2) 性別(1つに○)	1. 男性 2. 女性
3) 年齢(数値を記入)	〔 〕 歳
4) 過去1週間の勤務時間(数値を記入) ※ 問1で回答した勤務先における時間	〔 〕 時間 ★ ※ 残業時間を含む。休憩時間は除く。
5) 現在の事業所での勤務年数 (1つに○)	1. 1年以上 → 問6に進む 2. 1年未満 → 問4に進む

問4 問3の 5)で「2」と回答された方に、お伺いします。現在の事業所に勤務する直前の職場について、以下にご回答ください。(1つに○)

1. 現在の職場が初めての勤務先

問6に進む

2. 介護以外の職場

3. 特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設

4. 訪問介護・入浴、夜間対応型

5. 小多機、看多機、定期巡回サービス

6. 通所介護、通所リハ、認知症デイ

7. 住宅型有料、サ高住(特定施設以外)

8. その他の介護サービス

問5に進む

【介護人材実態調査票 職員票(訪問介護職員向け)】

問5 問4で「3」～「8」と回答された方に、お伺いします。ご回答いただいた直前の職場について、以下にご回答ください。

1) 場所(1つに○)	1. 赤穂市内 2. 赤穂市外
2) 法人(1つに○)	1. 現在の事業所と、 <u>同一</u> の法人・グループ 2. 現在の事業所と、 <u>別</u> の法人・グループ

問6 あなたの事業所の職員の充足度合いはどうか。(1つに○)

- | | | |
|---------------|---------------|------------|
| 1. 充足している | 2. おおむね充足している | 3. 不足気味である |
| 4. 慢性的に不足している | 5. その他(|) |

問7 あなたは今後も介護職を続ける意思はありますか。(1つに○)

- | | | |
|-------|-------|--------------|
| 1. ある | 2. ない | 3. どちらともいえない |
|-------|-------|--------------|

問8 介護職を継続するために必要とするものは何ですか。(3つまで○)

- | | |
|----------------------------------|-------------------------|
| 1. 適正な人員確保 | 2. 外国人人材の受け入れ |
| 3. ICT の導入など職場環境の改善 | |
| 4. 残業を少なくする、有休休暇を取りやすくする等労働条件の改善 | |
| 5. 賃金水準の向上 | 6. 資格取得・研修受講などのスキルアップ支援 |
| 7. 教育・研修の充実 | 8. 職場内のコミュニケーションの円滑化 |
| 9. 不満や悩みなどの相談窓口の設置 | 10. 子育て支援の充実 |
| 11. その他(|) |
| 12. 特にない | |

問9 あなたが希望する資格を取得するにあたり、支障となるものは何ですか。(3つまで○)

- | |
|------------------------------------|
| 1. 仕事が忙しく、勉強や講座に参加する時間がない |
| 2. 研修や講座の受講費用が高く、経済的な負担が大きい |
| 3. 事業所の勤務シフトや人員体制上、受講日程の調整が難しい |
| 4. 家庭の事情(育児・介護など)で受講時間を確保できない |
| 5. 研修会場やスクールが遠く、通学が難しい |
| 6. オンラインでの受講機会が少ない／環境が整っていない |
| 7. 資格取得後のメリット(待遇・キャリアアップなど)が感じられない |
| 8. 勉強の仕方がわからず、学習に不安がある |
| 9. 年齢的に学び直しへの抵抗がある |
| 10. 事業所からの支援(費用補助・休暇取得など)が少ない |
| 11. 周囲に資格取得を勧めたり支援してくれる人がいない |
| 12. 特に妨げになっていることはない |
| 13. その他(|
|) |

【介護人材実態調査票 職員票(訪問介護職員向け)】

問 10 あなたが負担と感じている業務は何ですか。(3つまで○)

- | | | |
|----------------|--------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄介助 | 2. 夜間の排泄介助 | 3. 食事の介助(食べる時) |
| 4. 入浴・洗身介助 | 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等)介助 | |
| 6. 衣服の着脱介助 | 7. 屋内の移乗・移動 | 8. 外出の付き添い |
| 9. 服薬 | 10. 認知症の症状への対応 | |
| 11. 食事の準備(調理等) | 12. その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)支援 | |
| 13. その他(| |) |
| 14. 特にない | | |

問 11 インフォーマルサービスに関する情報を誰(どこ)から入手していますか。(あてはまるものに○)

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1. 生活支援コーディネーター | 2. 民生委員 |
| 3. 地域包括支援センター | 4. 介護サービス事業者 |
| 5. 自治会関係者 | 6. 介護支援専門員 |
| 7. 同僚 | 8. 市役所ホームページ |
| 9. 社会福祉協議会 | 10. その他(|
| |) |

【介護人材実態調査票 職員票(訪問介護職員向け)】

問12 「訪問介護」、「訪問入浴」、「夜間対応型訪問介護」、「訪問型サービス(総合事業)」、「定期巡回サービス」、「小規模多機能型居宅介護」に従事されている方にお聞きします。

問3「4)過去1週間の勤務時間」(★欄)で回答した7日間の勤務時間について、身体介護・生活援助を提供した時間(分)を記入してください。

※水曜日を開始日とする場合、水曜(開始日)から次週の火曜までの7日間の情報をご記入ください。

※移動時間、待機時間は含みません。「買い物」は、店舗での買い物に要する標準的な時間及び利用者の居宅における訪問介護に要する標準的な時間の合算となります。(移動時間を含まない)

※障害サービスの提供は除いてください。

※介護給付による提供、介護予防給付・総合事業による提供は分けて記入してください。

※記入する時間は「5分単位」とします。(例)32分→30分と記入。

■介護給付による訪問について右詰めで記入

曜日	身体介護 ※	生活援助		
		買い物 (移動時間を含まない)	調理・配膳	その他の 生活援助
記入例	30 分	20 分	45 分	20 分
月	分	分	分	分
火	分	分	分	分
水	分	分	分	分
木	分	分	分	分
金	分	分	分	分
土	分	分	分	分
日	分	分	分	分
週の合計	分	分	分	分

■介護予防給付・総合事業による訪問について右詰めで記入

曜日	身体介護 ※	生活援助		
		買い物 (移動時間を含まない)	調理・配膳	その他の 生活援助
記入例	30 分	20 分	45 分	20 分
月	分	分	分	分
火	分	分	分	分
水	分	分	分	分
木	分	分	分	分
金	分	分	分	分
土	分	分	分	分
日	分	分	分	分
週の合計	分	分	分	分

※自立生活支援・重度化防止のための見守りの援助(自立支援、ADL・IADL・QOL 向上の観点から安全を確保しつつ常時介助できる状態で行う見守り等)は、身体介護に含む。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。